



# U TREK

International Exchange Center

## ユートレックのプログラムの考え方と問題提起

毎年、夏休みを中心に日本から何万人もの学生が、海外ホームステイを体験しております。

しかし、一方で、海外プログラムとホームステイには様々なものがあり、期待した成果が得られなかったり、中には問題を多く抱えるプログラムもあります。

海外に目を開く絶好のチャンスに、これらのプログラムをどのように見分けたらよいのかは、パンフレットなどを一見しただけではなかなか難しいものです。大切なことは、それぞれのプログラムの考え方と仕組みの違いをよく知ることです。ユートレック国際交流センターは、海外プログラムとホームステイについて、次のような考え方をもちて運営しております。

### 1. なぜ私たちはホームステイするのでしょうか。

観光名所を急ぎ足で回る、いわゆる観光旅行では外国の表面的なものは見ても、その国の人々の生活に直接触れることはできません。ホームステイでは、その土地の住人になってみることによって、旅行者では分からなかったことがたくさん見えてきます。特に、家族の一員となる温かい人間関係を築きながら、文化や習慣、ものの考え方、地域の活動、また社会の仕組みなど、様々なことを直接学ぶことができるのです。

### 2. 受入家庭はすべて100%ボランティア。なぜそれが大切なのでしょうか

近年、受入家庭に対して、ホームステイ取扱機関から金銭が支払われるケースが非常に多くなっており、「私たちが昔から大切にしてきたボランティア精神が失われつつある」と嘆くアメリカの人達の声を耳にします。それがなぜ問題なのでしょうか。

私達が考えるホームステイ交流とは、受入家庭も外国の子供を迎えることによって、海外のことを学んだり、また自分達の文化や習慣を紹介したりする機会としてとらえます。つまりホームステイは、訪問者だけでなく受入家庭にとっても国際体験や国際教育のチャンスとなります。金銭の支払いが行われることによって、そのような気持ちがない人々も受入家庭となる可能性があります。これは安全管理の面でもとても心配なことです。支払った方も、「これだけ払っているのだから」と家族のもてなしに対価を求めることにもなりかねません。長期の滞在ならともかく、お互いが世話になったりすることは、お金ではカウントできません。客人としてではなく、家族の一員となる関係に金銭のやりとりはないほうがいいのです。

一般に、ホームステイと呼ばれるものの大多数は、日本の旅行会社と契約を結んだ、海外のホームステイ請負会社の手配のもとに行われております。そこで募集される家庭の多くは、滞在日数に合わせて宿泊料が支払われています。有料ホームステイと呼ばれるもので、イギリスを始めヨーロッパやオーストラリア、ニュージーランドなどでは一般的なこととなっています。またアメリカやカナダの都市部など語学学校が多い地域も同様です。

中には単なる宿泊場所としてのホームステイで、温かい人間関係を築くことが期待できないケースもあります。

これらとは対照的に、ユートレックの青少年交流の受け入れ家庭は100%ボランティアの家庭が選ばれます。

アメリカ政府直轄の青少年教育機関や交流団体との共同プロジェクトで、お互いの国の若者を国際人として育成しようという高い理想に基づいて、信頼できる受入家庭が主に会員の中から選ばれます。



### 3. 一家庭に一人が理想。なのに現実とは？

一家庭に一人がホームステイの理想ですが、二人以上の学生が滞在するケースをよく見かけます。

これは、ホームステイの希望者が多く、受入家庭の数が足りないことが第一の理由です。中には、一人では自信がない、誰かと一緒だったらと思う人もいるかもしれません。しかし、複数ですと、どちらか英語ができる方がいつも話すことになり、他の人にはその機会が少なくなってしまう。それについて「日本を持ち込む」ことになり、ホームステイの効果は半減といえましょう。言葉が多少分からなくても一人で飛び込むことによって、ジェスチャーなどで、一生懸命コミュニケーションをするような努力ができるのです。そして、一人でやりきったという達成感と自信が湧いてくるのです。一人だからこそ、ファミリーの新しいメンバーとしてより太い絆が生まれてきます。

### 4. 同性・同年代のホストフレンドがいると広がりができる

受入家庭の中に、同性で同年代の子供(ホストフレンド)がいると、その世代の生活を体験できます。

たとえば、家族のそれぞれの役割がわかったり、ホストフレンドと共に地域の様々な活動(4H クラブなど)への参加によって、ホームステイに広がりができたりします。他の若者にも出会うチャンスとなります。そして実の兄弟、姉妹のような関係にも発展して、生涯に渡ってお付き合いが続くこともあります。大多数のホームステイでは、このようなことは約束されていません。

### 5. 受入家庭と訪問者、双方への事前オリエンテーションが成功のカギ

私達は、ホームステイに行く参加者のために、目的意識を高め、訪問国の文化や習慣について学ぶ、事前オリエンテーションを行っています。同時に、海外の受入家庭についても、各受入責任機関が、日本の若者をどのように受け入れたらよいかなどのガイドブックを作り、オリエンテーションを徹底しております。相互理解を深め、出会いがお互いにとって実りあるものにするためには、このオリエンテーションが欠かせません。しかし、一般にはあまり行われていません。また本人や家族について、「どんな若者が来てくれるのか」「受入家庭にはどのような人達がいるのだろうか」などについて、前もって知ることは、双方にとって安心ですし、交流の質を高めるのに必要です。これも、受入家庭については、相手の住所と名前くらいしかわからないプログラムが多いのです。

### 6. 語学研修の問題点

語学研修の環境とは、せっかく英語が使われている国にいながら、日本人ばかりが、あるいは日本人を含めた英語が話せない人ばかりが、教室に閉じこもって貴重な時間を費やすのです。夏休みに、空いている教室を使うので、また日本人学生を一ヶ所に集めておけばよいので、運営する側としては、管理がしやすいかもしれません。学生を一日中預かるホームステイ先を探すことは大変難しいので、昼間は学校に行くしか方法が無いという一面もあります。また、旅行費用を出す父母としても、「語学研修」という大義名分に納得しやすいところもあるでしょう。しかし、すでに、その国にいるのですから、教室で長い時間をさくのは、英語の習得に於いても、決して効果的な方法ではありません。それらは日本でも十分できるのです。



## 7. ホームステイと言葉

言葉は実際の生活を通して学ぶのが、一番の早道なのです。

ユートレックのホームステイでは、一日中生きている言葉が飛び交い、そして家族の子供から大人までが個人教授の役割を果たして助けてくれます。最初わからないことでも、シチュエーション(状況)から想像できることは、たくさんあります。外国語の習得で大切なことは、相手が何を言おうとしているのかを表情などから想像する体験を持つことです。日が経つにつれて、その部分がだんだんクリアになってきて、自分も真似をして言えるようになるのです。特に素晴らしいことは、お互いにコミュニケーションの努力がなされるということです。ジェスチャーをはじめ、絵を描いたり、一緒に辞書を引いたりします。言葉の習得は、心を通わす相手が出来たときにこそ、「もっと話したい」「もっと知りたい」という気持ちがふくらんで、その言葉を学び続ける何よりの動機になるのです。ホームステイが終わる頃は、きっと英語にかなり自信を持つようになるでしょう。そして帰国後も、自分自身の英語学習に対する意欲が格段に向上していることを発見することでしょう。

## 8. なぜキャンプに参加するのでしょうか

アメリカの親たちは、春になると夏休みに行われる色々なキャンプの情報を手に入れようとします。キャンプでは、子供たちが立派な大人に成長するために必要な要素を楽しく学べるからです。例えば、社会の中で人として身に付けなければならないこと(Social Skill)、色々なことに挑戦する力(Challenging Mind)、周りの人たちとの協力(Cooperation)、リーダーシップ(Leader Ship)など沢山あります。実際アメリカではアウトドア、ネイチャー、スタディー、スポーツ、ミュージック、バイブル(聖書)などさまざまなキャンプが盛んです。そして、同じキャンプに親子三代にわたって参加する例もあるほどです。キャンプに参加するということは“アメリカの文化”を体験することです。キャンプ場の環境も、日本では出合えないような素晴らしい大自然の中です。日本の若者たちも、優れた伝統のあるキャンプで、乗馬やカヌー、オーバーナイト、クラフトなど、日本ではできないことをいっぱい体験します。そして生涯の思い出を作りながら、多くのことを学んできます。

## 9. 世界に目を開く旅とは

ホームステイでは、日本の普段の生活とは異なった、初めての体験をする訳ですから、多少の苦勞を伴うのが普通です。その中には、言葉のギャップや食事の習慣の違いなどもあるでしょう。もし、日本と全く同じ生活を望むなら、わざわざ海外にまで出かけてホームステイをする必要はありません。プラス思考の積極的なチャレンジによって、苦勞も最終的には、自分自身の栄養となるのです。これは、若い人達が世界に目を開き、大きく成長する旅なのです。

## 10. 夢の実現に向かって

ホームステイ交流が、単なるひと夏の思い出として終わってしまうのは、もったいないことです。海外生活の中で、感動したり、発見したことはたくさんあるでしょう。たとえば、美しい公園や町づくり、充実した医療機関や社会のシステム、地域の活動、民主主義の意味など…。この日本や世界をより住み良い所にするためには、若者達一人一人が、その体験を生かしてほしいと思います。私達は、交流経験者がさらにグローバルな知識を深めるため、年間を通してのリーダーズトレーニングや、キャンプなどの活動を進めながら、未来の開拓者としての役割を担っていけるよう、全力でサポートしてまいります。